

令和5年度赤い羽根共同募金 公募制助成事業「チャレンジ部門・ステップアップ部門」 事業報告

採択団体：計団体（「チャレンジ部門」5団体、「ステップアップ部門」5団体）

交付金額：計 1,070,000円

① チャレンジ部門 5団体

No.	団体名	事業名	対象者	事業について	
1	ちょっとボランティア	ちょっとボランティア	市内福祉施設利用者の方	理由	・気がるにボランティアに参加して、市民の方と交流が出来ること。 ・福祉施設の利用者に喜んでもらえること。
				内容	・タオルボランティア ・お花を育て福祉施設等に配布。又、草むしり、植え替えのボランティア
				効果	・各福祉団体から大変喜んでいただきました。 ・今年度は、雑巾、花の他、花の植え替え等のボランティアにも参加。 ・赤羽根街頭募金活動にも参加出来ました。
				報告	・タオルを市民から回収して雑巾にして市内の福祉施設等へ配布（雑巾700枚配布） ・花を育て福祉施設に配布（雑巾1000枚・葉牡丹10鉢・チューリップ10鉢配布） ・赤い羽根募金活動に参加
2	丸木わいわい食堂	丸木わいわい食堂	当面は、町内会の子どもとその保護者及び高齢者を対象とするが、将来的にはこの会の目的に共感する他の地域の人々も対象者として範囲を拡大したい。	理由	孤食の解消 第三の居場所づくり
				内容	子どもも大人も集まって昼食（弁当）を楽しみ、食と健康を考える食堂を目指す。 食後は、わいわいがやがやと工作や面白体験をしながら、おしゃべりを楽しんでもらえる場所にしたい。
				効果	1.一人遊びをする子供たち、家に閉じこもりがちな高齢者達が外に出る機会を作り、楽しく過ごしてもらう。 2.町内会に周知することで、様々な人の目に触れることで関心を持つ人が増え、新たな人材を確保する。 1年間試しに継続して開催してきました。 ・子どもたちに喜んでくれたイベントは、駄菓子屋さんさんが好評でした。宿題サポートは親子ともに好評でした。 ・子ども食堂のイメージが強く、親子の参加が少なかったのが残念である。
				報告	子どもも大人もみんなが楽しめる場所づくり、子ども食堂の暗いイメージを無くして、地域の拠点として継続して開催することを目指し実施しました。 (1) 色鉛筆を使った絵手紙、水彩画教室 (2) 竹トンボ、竹鉄砲、お手玉づくり等遊具の製作 (3) 囲碁、将棋、お茶のお点前体験など (4) 駄菓子屋での購入体験、買い物の楽しさを実感してもらう これらを食後のイベントとして活動しました。

令和5年度赤い羽根共同募金 公募制助成事業「チャレンジ部門・ステップアップ部門」 事業報告

3	すがはらいきいきクラブ	すがはら元気づくりプロジェクト	すがはらいきいきクラブ会員と町内の住民高齢者世帯の住民	理由	①高齢者世帯が増加しているが、利用者の固定化・減少化見られる点 ②事業の種類が単一で、バリエーションにかけている点
				内容	①外部講師を招聘し、体操会や終活の話等の指導や助言を依頼する。 ②設立当初から使っている機械などを更新する。 ③町内高齢者世帯の人や子供たちと一緒に出来るイベントの開催をする。
				効果	①以前は、体操とお茶のみだけで、参加会員は、何時もと変わらないメンバーだった ②殺風景な集会所が、花の寄せ植えをする事により、交代で水やりをする事になり、一種の連帯感が生まれた。今後も寄せ植えをしようとの意識が芽生えた。 ③「笑いヨガのチラシ」を作成する事により、新しい会員が増えた。今までに無かった講座が有る事により、新しい会員が増え、会に活気が生まれた。
				報告	①8月29日(火) 殺風景な集会所を季節の花で、囲もう。当初は、もう少し早く行いたかったが、講師の先生より夏の暑さで花が枯れてしまうので、秋の花の寄せ植えをしてみたら良いとの助言により、この日に行った。また、植木鉢に「赤い羽根共同募金」のテープを貼った。 本日の参加者は、11名でした。また、CDラジカセも購入したので、「赤い羽根共同募金シール」を貼った。 ②9月4日(月)「菅原町集会所」にて、「笑いヨガ」の講習会を行った。チラシを作成した事により、初参加の方が3名有り、合計13名参加でした。 ③11月20日(月)野々市市生活学校の方に集会所に来て頂き、SDGsの取組紹介と「エコバックやエコたわし作り」を行った。参加会員15名参加した。 ④1月29日(月)CDラジカセで、体操を行ったが、テープが古くて上手く聞こえなかったので、新しいDVDを購入する事(1月31日購入)になった。参加者12名 ⑤2月19日(月)北陸電力のエネルギー講座を受ける。15名参加 ⑥2月22日(木)集会所の周りにする「寄せ植えの花」の購入。集会所の周りに、秋に購入した鉢に寄せ植えを行う。
4	『絵本・つむぐ・未来』	『絵本 de カフェタイム』	子育て世代の親子・絵本の好きな大人・ホッとひと息つきたい大人	理由	新しく絵本をまんやかに、人と人がふれあえる、ホッとひと息のつける、笑顔になれるコミュニティースペース(カフェ)を作りたい。 そこが居心地のよい笑顔になれる居場所になるようにしたい。
				内容	絵本をツールとしたコミュニティースペース(カフェ)を開設したい。
				効果	・絵本を読んでもらった大人がつい、涙したり、笑顔になったり心がゆるむ様子が見れた。 ・絵本を介して参加者同士の会話がもりあがった。 ・震災もあり、中止しようと思ったが、参加者さんにとっても喜ばれて、やってよかったと思った。 ・飲みもの(スティックコーヒー等)を用意したが全く利用されなかった。
				報告	・並べてある絵本を自由に手にとってもらい、読んでほしいと希望された本をその人のためだけに読む。 ・絵本をツールとしたふれ合いの時間を楽しんでもらう。 ・絵本を介して参加者さん同士も自然と会話が生まれ、コミュニケーションがとりやすくなる。 ・地域のコミュニティが広がるきっかけにする。などを目的に活動することができた。

令和5年度赤い羽根共同募金 公募制助成事業「チャレンジ部門・ステップアップ部門」 事業報告

5	ほっと なちゅれ	みんなのたまりば	不登校や発達障がい、引きこもりなどで孤立している親子	理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立してまだ半年で周知されておらず必要な支援に繋がっていない</li> <li>・手出しで賄っているため、新たなイベント数が増やせない、また作れるものや量に限界がある</li> <li>・おとな食堂における衛生面の不安がある。</li> <li>・平日の日中の居場所として機能しておらず、もっと充実をさせたく、（仮）『ほっと 自然体験塾』の開校を目指している。</li> </ul>
				内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ等の作成や増刷して周知をはかりたい</li> <li>・食品衛生責任者を受講し安全な食事を提供したい</li> <li>・新たな居場所づくり</li> </ul> <p>『たまりばクラフト』として海岸清掃で出たお寶（ゴミ）や頂き物で作品を作り、『たまりばマルシェ』で作品の展示や販売、こどもたちが講師となりワークショップをひらく</p> <p>『たまりばライブラリー』では、保育士さんや図書ボランティアさんなどに読み聞かせやお話をひらく</p> <p>（仮称）ほっと 自然体験塾の開校</p> <p>≪観光×教育×自然体験＝新たな教育の形≫を追求するべく観光を学ぶ</p> <p>石川県観光連盟「いしかわ観光創造塾」を受講中です。地域資源である観光と、地域課題の少子高齢化などの解決していきたい</p>
				効果	<p><b>【おとな食堂】</b></p> <p>食数175食、参加者数126名が利用した。当初の収入目標には到達しなかった。理由としては予定していたのいちにぎわいの里カミーノの調理室が思いのほか争奪戦となり、別施設を借りての開催となる日が多かった。しかし、家が近くレギュラーとして毎回参加してくれるようになったり、調理後にそれぞれがコミュニケーションをとる場ともなった。子供たち同士で工夫して、一品を作り上げられる位の調理技術の向上も見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品衛生講習を受け食品衛生責任者の資格を取得。安心安全な食の提供ができるようになった。</li> </ul> <p><b>【こどもカレッジ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できた！やってみたい！を親子で様々な体験として提供することができた。</li> </ul> <p>例：看護師実習、プログラミング、おはなし研究会、海外を知る、アートな研究、パン教室、出汁炊き教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験は予算が限られており、今年度は実施できなかったが、次年度に向けて準備中である。</li> </ul> <p><b>【こどもクリエイターマルシェ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二度、イベントに出店する機会があった。どちらも予約待ちが出来るほどの大盛況であった。もっとイベントへ出店できれば収益がもっとあったと手ごたえを感じた。</li> </ul> <p>備品等の購入が出来たので、次年度も継続ができる。</p>
				報告	おとな食堂10回、こどもカレッジ29回、たまりばカフェ6回、こどもクリエイターマルシェ2回など他合わせて計63事業を展開し、のべ725名が参加し活動することができた。

令和5年度赤い羽根共同募金 公募制助成事業「チャレンジ部門・ステップアップ部門」 事業報告

② ステップアップ部門 5団体

No.	団体名	事業名	対象者	事業について	
1	nono1 みんなの食堂	nono1 みんなの食堂	「食」等に関して、様々な困難を抱える野々市市全域の多様な年代の市民や市民協働に共感する市民	理由	・「住みやすさランキング日本一」と言われる本市において、「食」に関する困難（貧困、孤食等）を抱えて日常生活の隙間に潜在化する多様な方々に対して、「みんなが楽しい、心豊かで、住み続けたい地域社会」への参画機会を創出するとの活動ポリシーを維持し、2年目も更に内容の充実を図りたい。
				内容	・初年度に継続して、市内各地区（本町、富奥、郷・押野）の公民館を利用し、「nono1 みんなの食堂」を1回/月を基本に、「有意義なイベント」と「充実した食の提供」を実施する。 ・参加者へ「ミッション（役割）＝奉仕活動、有意義な学習や体験」を付与し、達成感・自己肯定感の醸成を図るとともに、参加しやすい雰囲気の醸成を図る。 ・各回の内容は季節性を考慮したものとする。（弁当、フードパントリー等） ・他のボランティア団体との連携、情報交換を積極的に実施する。
				効果	・毎回、「楽しく有意義なイベント」と「食の提供」及び「善意のお裾分け（寄付物品の配分）」を実施し、参加家族の好評を得た。 ・「食に困難を抱える家庭」に限らず参加しやすい雰囲気を醸成するよう工夫し、幅広く多様な家庭の参加を得ることが出来た。 ・11/26「落ち葉掃除と焼き芋」（御経塚史跡後公園）は、NHK加賀能登イブニングでも取り上げられ、市の掲げる「市民協働のまち」、「魅力ある地域社会」及び本会活動の有用性を広く広報できた。
				報告	・5/28「林口川沿いの遊歩道花壇整備」（中林地区） ・6/26「保護猫活動とのコラボ」（JA本町支店倉庫） ・7/26「郷土資料館の外壁ペンキ塗り」（郷土資料館） ・8/27「SDGsゲーム体験」（富奥公民館） ・9/17「防災教育」（富奥公民館） ・10/29「郷土資料館の外壁ペンキ塗り」（郷土資料館） ・11/26「落ち葉掃除と焼き芋」（御経塚史跡後公園） ・12/17「エコ教育（コンポスト）」（カミーノ） ・2/25「エコ教育（太陽光発電）」（郷公民館） ・3/24「SDGsゲーム・野々市バージョン」（郷公民館）
2	野々市市市民活動団体「わ」	「わ」グレードアップ事業	「わ」会員、参加者（野々市市民対象）	理由	3年目に入り、子どもたちだけでなく、お年寄りなど幅広い年齢層の方との触れ合いの場を作りたい
				内容	参加者とのレクリエーション、クッキング、夏まつりやハロウィン探検、クリスマスパーティなどをしたい
				効果	クッキングは、常連さんができてきた。 夏まつり、思っていた以上の参加者があり、「わ」を知ってもらえたように思う。 ハロウィンも、初めての参加者があり、みんなと楽しめた。
				報告	月1～2回、クッキング 8月、夏まつり 12月、クリスマス会 夏・冬、工作 10月、ハロウィン探検 3月、被災者の方々と壁紙づくり

令和5年度赤い羽根共同募金 公募制助成事業「チャレンジ部門・ステップアップ部門」 事業報告

3	憩いのカフェ	憩いのカフェ パワーアップ事業	新庄5・6丁目の 60才以上の人	理由	野々市からいただいた健康体操（おたっしゃ体操）のCDで椅子にすわって行う環境を整えたい
				内容	お年寄りが気持ちよく、お茶会にきておしゃべりや手や頭を使って、絵手紙や小物を作り、健康寿命に役だてたい。
				効果	椅子を使ってのお達者体操や、絵手紙等の作業の際、椅子になった事で参加者が増え大変喜んでおり、まさにパワーアップ成功になりました。
				報告	月2回計21回カフェを開催し、のべ300人の方が集まり活動することができました。
4	太平寺カフェ (太平寺会館内)	太平寺カフェ事業	太平寺町内会の住 民	理由	現在実施している事業内容を充実し、長く継続することで超高齢化社会対策の一助としたい。参加者からの会費（100円）だけでは会の運営に苦慮している現状を何とか改善したい。
				内容	外部講演者に支払うべき謝礼の財源が不足し無償でお願いしております。加えて、備品類、映像機器類を充実すべく購入費の補助をお願いしたい。
				効果	当初は野々市市社会福祉協議会のご指導の下、町内の交流、親睦を深めることを主目的としてスタートし、開始以来10年を経過しました。その効果としては ①近隣住民が毎月集まり、顔を合わせる機会となっており、コーヒーを飲み町内の情報交換をするだけでなく、一人住まいの高齢者の近況を把握し、安否確認にも役立っていると 思われます。 ②太平寺会館まで徒歩で集合し、講師の話聞くだけでなく、おしゃべりをし、歌を歌い、軽い体操やゲームをすることで脳と体の機能を維持し、人生100年時代に向けて健康寿命を延ばす効果少しは出ているのではと思われます。
				報告	今回補助金を頂きましたが、当カフェで使用するダーツゲーム、鉄琴等の機材購入費用に充当させて頂き、大変助かりました。 今後は、それらの機材を有効に使い、太平寺カフェの活動に役立てたいと思っております。
5	野々市人形劇サークル 「くるりんぱ」	野々市人形劇サークル 「くるりんぱ」	野々市人形劇サー クル	理由	人形劇の内容が正確につたわるために音響機器を整備し事業効果を強化したい。
				内容	市の保育園、幼稚園、学童クラブ、児童館、老人施設、公民館等で人形劇を公演し民話、わらべうたを伝える。
				効果	・子供（2才～6才）さんは人形の動きに一喜一憂、公演後もタッチしたり、印象的なところを口ずさんだりしていました。 ・大人の方は登場人形が手作りにおどろかれたり、知っている地名や方言にとっても喜ばれました。 45分程の公演を視聴していただき、子どもが大好きな私達サークルメンバーはありがたく感謝しながら公演させていただいております。
				報告	・菅原学童（野々市） ・つばきの里アリス ・野々市（カミーノ） ・野々市北国街道まつり ・野々市市白山保育園 他 計8回のべ461名参加

採択団体数：10団体

交付金額：計 1,070,000円